

1 教育目標

学校教育目標：知・徳・体の調和のとれた健全で自律した児童の育成

重点目標Ⅰ：なかまと学び合う みずほっ子の育成

重点目標Ⅱ：心身ともに健全な みずほっ子の育成

【校訓】

つよく

あかるく

いっしんに

2 本年度学校教育の努力点とその推進計画

(1) 主題 問題解決していく楽しさを味わうことができるみずほっ子の育成

～他者との協働的な関わりに重点をおいて～

(2) ねらい

今求められる理科教育の流れを見据え、本校では、見いだした問題を他者と協働的に関わりながら科学的に解決する喜びや達成感を味わうことができる子どもの育成を目指し、実践に取り組んできた。子どもは自ら問題を見だし、主体的に問題解決していくことで、見いだした問題を観察や実験を通して科学的に解決するだけでなく、学んだことを自然の事物・現象や日常生活と関連付けて考えていく中で、より現実的な諸問題を科学的な根拠を基に解決しようとする姿が見られるようになった。さらに、「問題解決していく楽しさ」を追究し、将来「理科を学んでよかった」「学んだことをもとにもっと知りたい」という理科を学ぶ幸福感にもつなげたいと考える。そこで、今年度は、問題解決過程の流れの「実証する場面」と「結論を導き出す場面」に重点を置き、それぞれの場面で他者との関わりを意識して、「問題解決していく楽しさ」を実感させ、子ども中心の学びになることをねらいたい。

(3) ねらいに迫るために

実践計画について

今年度は「予想や仮説の設定」と「検証計画の立案」、「観察・実験」を合わせた①「**実証する場面**」と、「結果の処理」と「考察」、「結論の導出」を合わせた②「**結論を導き出す場面**」での子ども同士の関わり（交流）に重点を置き実践を行う。

- ☆子ども同士の交流のポイント
- ・交流させる課題がはっきりしている
 - ・子ども全員が課題を達成できる

<話し合いの発言例>

- ・私とは〇〇という点で同じだね
- ・私とは〇〇という点で少し違うね
- ・本当に？どうしてそう思うの？
- ・どの部分からそう言えるの？
- ・具体的にはどういうこと？
- ・もう少し詳しく教えて
- ・実験で確かめられるの？
- ・何回やっても同じ結果になった？
- ・他の人も同じような結果になったの？
- ・これで全てのことが分かったの？他に調べないといけないことはない？

①「**実証する場面**」での他者との関わりポイント

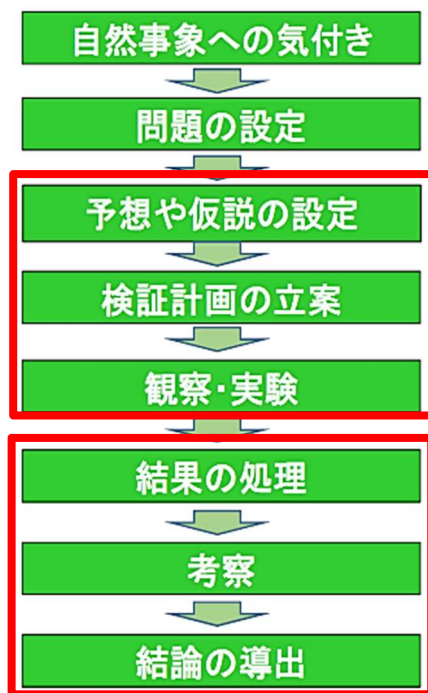
- ・子ども同士の予想や仮説の違いに目を向けさせる。
- ・どんな実験をしてどんな結果が出れば、自分の予想を確かめられるか考えさせる。

など

②「**結論を導き出す場面**」での他者との関わりポイント

- ・実験結果を自分の仮説や友達の結果と比較し、分析して結論を導くようにする。
- ・問題解決をしたことで、次の問題を見いだしたり、仮説の再検証をしたりする。

など



“子ども中心の学び”

“学びを自己調整する力”

“納得いくまで追求する授業”